

祝 上三川中学校野球部

第32回全国中学校軟式野球大会で第三位に輝く



8月19日～22日に岡山県倉敷市で行われた第32回全国中学校軟式野球大会に上三川中学校野球部が出場しました。上三川中野球部は1回戦で詫麻中(熊本県)、2回戦で新十津川中(北海道)、3回戦で秀光中(宮城県)に勝利し準決勝に進出、準決勝では今大会優勝校の常葉橘中(静岡県)に敗れましたが、堂々の第三位に輝きました。

かみのかわの郷土食・行事食 10月

地鎮様とうかんや(十日夜)

2月の地鎮様より、稲刈りも終わり、おまつりする所も多い。2月の地鎮様は田の神様が天から降りてくるが、10月の地鎮様は田の神様が収穫を見とどけて天に帰るとされている。

新米で餅や赤飯、だんごを作り神仏に供える。

米の収穫の祝いといわれ、米俵の上に箕を乗せ、その上に12ヶの餅を乗せて供えた。

十三夜(旧9月13日)

十五夜はススキ5本であるが、十三夜は3本で他の供物も3ヶでまとめる。(だんご13ヶ 里芋3ヶ 梨3ヶ等)

「十五夜に晴れた夜なく 十三夜に曇りなし」と伝えられている。

十五夜と同様、子供たちは藁鉄砲(ボーゾボ)で各家を回り、終わったら柿の木につるすと柿が豊作といわれている。

片見月は縁起が悪いといわれ、十五夜をした所で十三夜もするように伝えられている。



地鎮様(十日夜)で供える、餅(上)とだんご(下)。

(次回は恵比寿講についての紹介になります)

▼問い合わせ先＝郷土食を考える集い実行委員会(産業振興課 農村振興係) ☎(56)9136)